

## Q&A

### Q:どのような児童が就学の対象になりますか？

A:知的障害、肢体不自由のある児童で、日常生活や他者とのコミュニケーション等に、多くの支援が必要な児童が対象となります。知的障害のないLD等の発達障害は対象ではありません。

### Q:どのような学習をしていますか？

A:一人一人の実態に合わせて、小学校に準じた各教科と、いくつかの教科等を合わせた指導として「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」、障害による学習上、生活上の困難を改善・克服するための指導として「自立活動」を行っています。

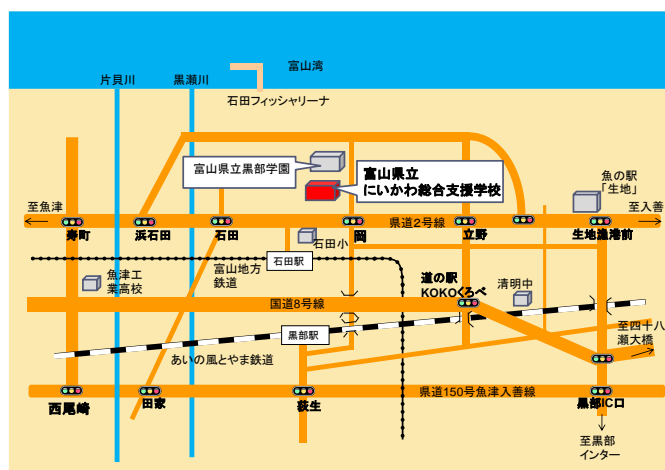
### Q:児童の給食にはどのような配慮がされていますか？

A:児童の実態や特性に応じて、主治医等の診断に基づき、刻み食等の提供をしています。

### Q:機能訓練はありますか？

A:病院ではないので、機能訓練は行いませんが、学校に作業療法士等を招いて研修を行うとともに、必要に応じて、作業療法士等と連携し、自立活動の指導に役立てています。

○家庭の経済状況に応じて国から特別支援教育就学奨励費として、交通費・給食費等の全額又は一部が支給されます。



## 富山県立にいかわ総合支援学校

〒938-0059

富山県黒部市石田 6682

電話: 0765-54-1288

FAX: 0765-54-0904

URL: <http://niikawa-sh.el.tym.ed.jp/>

Email: [niikawashien@ed.pref.toyama.jp](mailto:niikawashien@ed.pref.toyama.jp)

【R6.4月改定】

## 〈学部案内〉

### 明るく

### 仲よく

### 元気よく



小学部児童作品

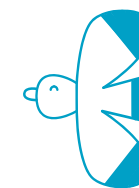
## 富山県立にいかわ総合支援学校

### 小学部



**にいかわ総合支援学校**は、新川地域にある唯一の特別支援学校です。  
知的障害児童生徒と肢体不自由児童生徒を教育の対象としています。

- ・児童生徒は自宅から、スクールバス、自家用車、あいの風とやま鉄道や富山地方鉄道、自転車を利用して通学しています。また、隣接した児童福祉施設「富山県立黒部学園」から通学する児童生徒もいます。
- ・教育活動は小学部、中学部、高等部別に行っています。学校へ通学して教育を受けることが困難な児童生徒には、訪問教育を行います。
- ・障害種別に学級編制を行い、知的障害と肢体不自由それぞれの教育課程で学習します。
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行います。



**小学部の目標** 基本的な生活習慣を身に付け、元気に日常生活を送る児童を育成する。

### 目指す児童の姿

- ✦ 人やもの、自然にやさしい心をもつ児童
- ✦ 楽しく体を動かし、元気に過ごす児童
- ✦ 日常生活に必要な基礎、基本的な力を身に付けた児童
- ✦ 簡単なきまりを守って、みんなと一緒に活動する児童
- ✦ いろいろな活動に興味をもって取り組む児童

### 主な年間行事

- 運動会（5月）
- 学習発表会（10月）
- 校外学習（年2回）
- 共同宿泊学習（5、6年生）
- 修学旅行（5、6年生）
- 給食見学会（1年生）
- 学習参観（2月）
- 学校公開DAY（年2回）



### 学習の内容

- ✦ **教科**  
国語、算数、音楽、図画工作、体育
  - ✦ **自立活動**  
心身の調和的発達を目指して生活リズムを整え情緒の安定を図り、日常生活や学習に必要な基本的動作、コミュニケーション能力等を育てます。
  - ✦ **日常生活の指導**  
衣服の着脱、排せつ、食事、挨拶等、望ましい生活習慣の形成を図ります。
  - ✦ **遊びの指導**  
発達の段階に応じた遊びなどを通して、身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育てます。
  - ✦ **生活単元学習**  
手伝い等、家庭生活に必要な事柄を実践的に学習し生活に生かします。
- \* 知的障害のない肢体不自由の児童には、小学校に準じた教育を行います。**



### 交流及び共同学習（予定）

黒部市立石田小学校 魚津高等学校  
居住地校交流

### 本校への就学の流れ \* 随時教育相談を行っています。

